

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 静甲株式会社
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鈴木 恵子

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 小野田 敦

TEL 054-366-1106

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,425	△3.5	77	△20.5	103	△28.1	36	△97.3
23年3月期第2四半期	10,807	10.8	97	59.5	144	52.4	1,347	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 51百万円 (△96.0%) 23年3月期第2四半期 1,290百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.68	—
23年3月期第2四半期	238.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第2四半期	15,355		11,563		75.3	
23年3月期	15,952		11,564		72.5	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,563百万円 23年3月期 11,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	1.5	340	43.6	380	21.1	200	△67.6	30.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	6,483,323 株	23年3月期	6,483,323 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	982 株	23年3月期	982 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,482,341 株	23年3月期2Q	5,660,254 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により深刻な影響を受けましたが、その後、サプライチェーンの復旧に伴い生産や輸出が回復に向かうなど、持ち直しの動きが見られました。しかし、長期化する円高や世界経済の減速懸念などの不安材料により、先行きは不透明な状況となっております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、冷間鍛造事業及び電機機器事業は、比較的震災の影響が軽微であったため堅調に推移いたしました。一方、産業機械事業では受注が停滞して売上が伸び悩み、車両関係事業では、エコカー補助金終了で厳しい市況のなか震災の影響により新車の入荷が遅れ、前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、当社グループの売上高は104億2千5百万円（前年同期比3.5%減）となり、利益面では経常利益1億3百万円（前年同期比28.1%減）、四半期純利益3千6百万円（前年同期比97.3%減）となりました。なお、前年同期は、負ののれん発生益14億6千8百万円を特別利益に、減損損失8千6百万円を特別損失にそれぞれ計上しております。

〔産業機械事業〕

震災の影響により設備投資の先送りや中止が発生するなか、第2四半期には徐々に受注が回復に向かい大型包装機械設備の受注もありましたが、当第2四半期連結累計期間中の受注・売上案件を確保することができず、改造工事も伸び悩みました。売上高は子会社を連結の範囲に含めたこともあり、ほぼ前年同期並みの19億4千万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は1億4千4百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

〔冷間鍛造事業〕

主力の電動工具部品は前年同期並みで推移し、自動車部品は客先の北米向けピックアップトラック用部品の増産に支えられ増加いたしました。また、事務機・産業機械部品も前年同期に比べて増加したことから、売上高は8億8千5百万円（前年同期比10.4%増）となりましたが、材料費の上昇などにより営業利益は7千5百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

〔電機機器事業〕

主力のF A関連機器は、商品の入荷遅れが早期に回復し、また自動車業界など県内製造業の需要が堅調に推移したことから前年同期の実績を上回りました。空調・冷熱機器は、省エネをテーマとした空調機器リニューアルの提案を推進し、前年同期を上回る実績となりました。これらの結果、売上高20億8千6百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益1億5百万円（前年同期比68.9%増）となりました。

〔車両関係事業〕

震災の影響による新車の入荷遅れもあり、スバル新車販売はエコカー補助金終了に伴う駆け込み需要のあった前年同期に比べて減少いたしました。新車販売の落込みに伴い下取車の在庫が減少して中古車販売は低調に推移し、整備入庫台数の減少により部品・サービスも減少いたしました。輸入車販売は、店舗リニューアルの効果により増加いたしました。車両関係事業全体では売上高54億6千1百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益1千8百万円（前年同期比75.4%減）となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

前年同期並みの、売上高5千1百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益2千万円（前年同期比5.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の資産合計は153億5千5百万円となり、前連結会計年度末から5億9千7百万円減少いたしました。

この内、流動資産は76億6千1百万円となり、前連結会計年度末から7億2千8百万円減少いたしました。この主な原因は、現金及び預金の減少4億7千5百万円、受取手形及び売掛金の減少5億7千1百万円、商品及び製品の増加1億5千2百万円及び仕掛品の増加1億7千9百万円です。

固定資産は76億9千4百万円となり、前連結会計年度末から1億3千1百万円増加いたしました。

負債合計は37億9千1百万円となり、前連結会計年度末から5億9千6百万円減少いたしました。この主な原因は、支払手形及び買掛金の減少1億8千6百万円、流動負債のその他の減少3億3千9百万円です。

純資産合計は前連結会計年度末とほぼ同額の115億6千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間においては、産業機械事業は売上高が伸び悩みましたが、冷間鍛造事業及び電機機器事業は堅調に推移いたしました。車両関係事業は、メーカーの生産回復が想定より進んで供給面での制約が緩和されたことから、当第2四半期連結累計期間では当初予想を上回る売上高となり、当社グループの連結業績は当初の予想を上回りました。

期後半につきましては、震災の影響により停滞していた包装機械の受注が徐々に回復に向かい、通期では産業機械事業の売上高は当初予想を上回る見込みです。その他の事業につきましては当初予想並みの売上高となる見込みです。

以上により、平成23年10月28日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表したとおり、平成24年3月期の通期連結業績予想を売上高220億円、営業利益3億4千万円、経常利益3億8千万円、当期純利益2億円としております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831,146	2,355,958
受取手形及び売掛金	3,716,092	3,144,237
商品及び製品	673,798	826,136
仕掛品	659,934	839,560
原材料及び貯蔵品	32,927	32,744
その他	480,136	466,310
貸倒引当金	△3,969	△3,837
流動資産合計	8,390,067	7,661,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,869,908	1,914,151
土地	2,996,375	2,996,375
その他(純額)	881,112	939,707
有形固定資産合計	5,747,396	5,850,235
無形固定資産	42,260	38,907
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,764	1,250,335
その他	549,196	554,808
貸倒引当金	△68	△146
投資その他の資産合計	1,772,891	1,804,998
固定資産合計	7,562,549	7,694,140
資産合計	15,952,616	15,355,251
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,742,026	1,555,733
短期借入金	42,304	39,904
未払法人税等	102,679	52,573
賞与引当金	355,379	364,874
その他	1,084,428	744,771
流動負債合計	3,326,817	2,757,856
固定負債		
長期借入金	200,606	197,504
退職給付引当金	528,416	328,275
役員退職慰労引当金	133,149	144,864
資産除去債務	48,552	49,159
その他	151,016	314,001
固定負債合計	1,061,741	1,033,804
負債合計	4,388,558	3,791,661

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,000	1,337,000
資本剰余金	1,833,576	1,833,576
利益剰余金	8,134,656	8,119,637
自己株式	△644	△644
株主資本合計	11,304,588	11,289,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259,469	274,020
その他の包括利益累計額合計	259,469	274,020
純資産合計	11,564,058	11,563,589
負債純資産合計	15,952,616	15,355,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,807,475	10,425,450
売上原価	8,682,480	8,350,243
売上総利益	2,124,995	2,075,207
販売費及び一般管理費	2,027,481	1,997,651
営業利益	97,513	77,555
営業外収益		
受取利息	1,559	1,623
受取配当金	16,034	15,277
その他	45,439	26,091
営業外収益合計	63,032	42,992
営業外費用		
支払利息	2,218	2,269
売上割引	12,382	13,241
その他	1,508	1,143
営業外費用合計	16,109	16,654
経常利益	144,436	103,893
特別利益		
固定資産売却益	—	47
投資有価証券売却益	1,001	—
貸倒引当金戻入額	250	—
退職給付制度終了益	—	4,543
負ののれん発生益	1,468,259	—
特別利益合計	1,469,511	4,590
特別損失		
固定資産除却損	2,026	17,826
減損損失	86,565	2,983
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,166	—
特別損失合計	123,758	20,810
税金等調整前四半期純利益	1,490,189	87,673
法人税等	175,738	50,834
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314,451	36,839
少数株主損失(△)	△33,107	—
四半期純利益	1,347,559	36,839

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314,451	36,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,454	14,550
その他の包括利益合計	△23,454	14,550
四半期包括利益	1,290,996	51,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,326,166	51,390
少数株主に係る四半期包括利益	△35,170	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。